

市民参加で太陽光発電装置の普及を進めているNPO法人「きょうとグリーンファンド」(京都市下京区)が発足10年を迎え、子ども向けの環

境教育用の絵本を作った。節電や自然エネルギーの大切さを学ぶ内容で、京都市内の幼稚園や保育園などに配布する予定という。

おひさま発電大切に

設置施設側の自己負担金などを合わせ、パネル1基あたり約900万円の費用を賄っている。

板倉豊理事長(62)

同ファンドは、市民広く知ってもらおうとから寄付金を受け、府作った。太陽とかくれ内の公共性の高い建物、んぼをして遊んでいたを対象に太陽光パネルを設置している。設置を対象に太陽光パネルを設置している。設置は「おひさま発電所」として地域での環境教育の拠点に活用、余剰育の拠点に活用、余剰

同ファンドは、市民広く知ってもらおうとから寄付金を受け、府作った。太陽とかくれ内の公共性の高い建物、んぼをして遊んでいたを対象に太陽光パネルを設置している。設置は「おひさま発電所」として地域での環境教育の拠点に活用、余剰育の拠点に活用、余剰

園児向け絵本制作

発電分は寄付してもらっている。2000年に11月にNPO法人の認定を受け、これまでに京都市や城陽市の保育園など計15カ所に取り付けた。

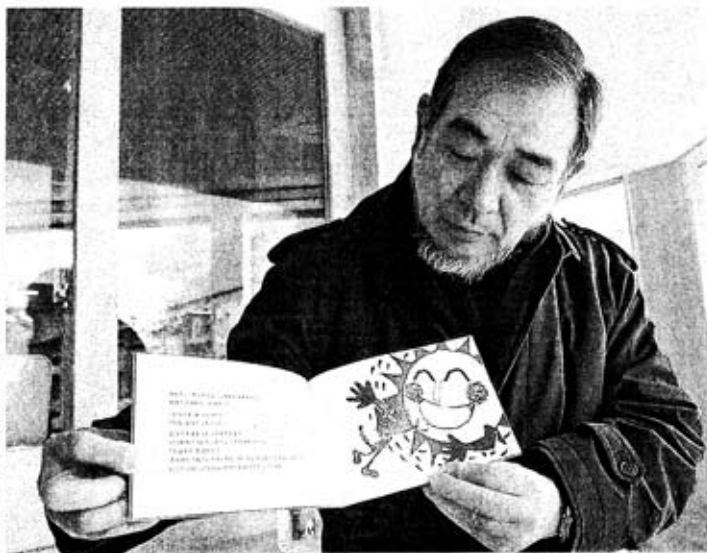
発電分は寄付してもらっている。2000年に11月にNPO法人の認定を受け、これまでに京都市や城陽市の保育園など計15カ所に取り付けた。

この10年で同ファンドに寄せられた市民の寄付は計約1480万円(352)9150。

この10年で同ファンドに寄せられた市民の寄付は計約1480万円(352)9150。

絵本は、活動をより円。国からの補助金や(山田修裕)

絵本は、活動をより円。国からの補助金や(山田修裕)



普及進める京のNPO 10年

NPO法人きょうとグリーンファンドが設立10年を機に作った絵本(京都市右京区・自然幼稚園)

NPO法人きょうとグリーンファンドが設立10年を機に作った絵本(京都市右京区・自然幼稚園)